

祝 辞

埼玉県教育委員会教育長 高田 直芳

第54回全日本聾教育研究大会埼玉大会が、全国の聴覚障害教育にかかわる大変多くの方に御参加いただき、インターネットで開催されますことに心からお喜びを申し上げます。

本研究大会に参加される皆様におかれましては、日頃から聴覚障害教育の発展・充実のため、多大なる御尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、全日本聾教育研究会におかれましては、昭和41年の発足以来、聴覚障害教育の振興・発展のため精力的な活動をなされているとともに、このように全国規模で教育実践を共有されますことに深く敬意を表する次第です。

さて、埼玉県においては、2校のろう学園が聴覚障害教育の伝統の更なる発展に取り組んでいます。例えば、学習用グループウェアによる学習課題の配布や音声テキスト変換アプリケーションの導入、手話通訳士資格の教員を配置するなど、円滑なコミュニケーションや情報保障環境の整備を行っております。

埼玉県教育委員会では、国のGIGAスクール構想を加速させ、県立学校に大容量回線を導入いたします。また、BYODを含めた一人一台のタブレット端末の整備や家庭学習のための通信機器の整備支援を進めることで、誰一人取り残されることのない学びの実現と災害時でも途切れることのない学習保障の実現を目指しております。

本研究大会は、「自ら学びを深め、たくましく生きる力を育むろう教育」との大会主題の下、2日間に渡って各分科会でそれぞれ協議を深めていただく大変貴重な機会となります。本研究大会の取組が聴覚障害のある幼児児童生徒の進路実現や社会で自らの能力を発揮できる聴覚障害者の育成に大いに生かされることを期待いたします。

結びに、本研究大会の開催に御尽力いただきました皆様に深く感謝を申し上げますとともに、全国各地で聴覚障害教育に熱心に取り組まれている皆様のますますの御発展と御健勝を御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。